

OBインタビュー 神原ロジティクス 株式会社



会社名：神原ロジスティクス株式会社
所在地：広島県福山市箕沖町109番5
創業：1978年11月
従業員：140名（2015年1月現在）

事業概要
造船、海運、環境・エネルギー、サービス事業を行う常石グループにおいて海運事業の物流部門について、福山港（広島県）を拠点に、輸出入通関、倉庫保管、流通加工、配送業務を含むコンテナ輸出入貨物のドア・ツー・ドアサービスを提供しています。
ウェブサイトURL：http://www.kambara-logistics.com/



神原ロジスティクス株式会社 物流事業部
船舶代理店課 陳 忠輝さん（中国 山東省）
広島大学社会科学部国際政治経済学専攻
2013年3月卒業

Q.日本へ留学したきっかけについて教えてください。

私は、中国の大学を卒業し中国で就職しました。2年間で2社の就労経験があるのですが、2社とも日本と関係のある仕事をしており、日本に留学したいと思うようになりました。

日本留学にあたり、進学先の大学を決めるときに大学の人気ランキングを重要視したのですが、中国での大学の同級生が広島大学へ進学していました。環境的にも良いと聞いていたので広島大学に進学することに決めました。

Q.日本での就職活動について教えてください。

修士1年生の6月に広島県留学生生活支援センターが主催していた就職活動入門セミナーに参加し、日本の就職活動がどのようなスケジュールでどのような選考があるかを初めて知りました。

その後、夏休みに同センターが広島大学で開催していた実用日本語研修に参加しました。2週間で週2〜3日ビジネスレベルの日本語についての講義があり、履歴書等の書き方から面接の練習、グループプレゼンテーションなど就職活動に必要なさまざまな知識を習得することができました。

11月は、週末に就職活動実践セミナーに参加しエントリーシートの書き方やSPI対策、面接対策等の準備を行いました。

1月には合同企業説明会に参加し、その後個別のコンサルティングを受けながら就職活動を行いました。

特に業界にはこだわらずに、自分の能力や特性を生かせる中国との関係がある企業で働きたいと考えて就職活動をしていました。また、広島県に2年間住んでその間に広島県の色々な方にお世話になったということと、住みやすく、災害も少ないということもあり、広島県を中心に就職活動を行いました。

エントリーは100社程度行いました。20社程度の上社試験を受け、最終的には2社から内定を頂きました。

現在勤務している神原ロジスティクスは、1月の合同企業説明会で出会いました。神原ロジスティクスに就職先を決めた理由は、常

石グループという大きな母体で色々なグループ会社があるため、さまざまな経験ができると思ったからです。

Q.現在の仕事の内容を教えてください。

私は、現在船舶代理店課に在籍しています。船舶代理店課は福山港での入出港の際のアテンドや港湾局に岸壁使用願を、港長、税関、検疫所、出入国管理局に入港通報などを提出する通関申告業務を行っています。

入社ときに苦労したのは、税関や入局管理局等の官公庁とのやり取りが多く、決められた書式を使いこなすのに時間がかかったことです。

また、日常のコミュニケーションも日本語でやり取りしていくので入社直後は、同期の話についていけないこともありました。業務上でも、たまに分からない単語などが出てくるときは、あいまいにせず、必ず理解できるまで確認しながら仕事を進めています。

1年間日本企業で働いた感想は、日本人は真面目な方が多いと思いました。例えばすべての作業に対して記録を残し、責任の所在をはっきりさせることで業務が正確に実行できるのだと思います。

中国では、基本的に口頭で仕事を進めるので、仕事の精度が違うということを実感しています。

Q.キャリアビジョンについて教えてください。

今の仕事をしっかり覚えて色々な経験をする中で、自分の能力を向上させていくことが大事であると考えています。母国に帰ることは今のところ考えていません。

常石グループは、外国人社員が夫婦で働くことも多く、私の妻も昨年大学を卒業して、グループ会社の常石造船で勤務しています。

夫婦ともども、日本（常石グループ）で頑張りたいと考えています。